
令和6年度
幸区高校生アンケート調査
報告書

令和7年2月

目次

I. 調査の概要	1
II. 高校生調査の結果	2
1. 調査回答者の基本属性	2
2. 幸区について	3
3. 交通安全について	9
4. 防災について	10
5. 自分の住んでいる地域のことについて	13
6. ボランティア活動について	16
7. 障害者支援について	19
8. 行政の情報について	20
9. 将来について	22
10. 自由意見	24

I. 調査の概要

【調査対象】 幸区内（幸高等学校・川崎総合科学高等学校）に在学の高校2年生

【調査方法】 学校での配布、回収

【調査期間】 令和6年9月13日～9月30日

【回収結果】 調査件数：471件（令和6年5月1日時点生徒数）

有効回収数：246件

有効回収率：52.2%

【調査項目】

(1) 幸区について	(6) 障害者支援について
(2) 交通安全について	(7) 行政の情報について
(3) 防災について	(8) 将来について
(4) 自分の住んでいる地域のことについて	(9) 自由意見
(5) ボランティア活動について	

※ 図中における基数となるべき実数（n）は回答者数を示している。また、本文中の「構成比（%）」は小数点以下第2位を四捨五入していること、並びに複数回答によるものも含まれていることから、構成比の合計が100%に満たない、あるいは上回る場合がある。

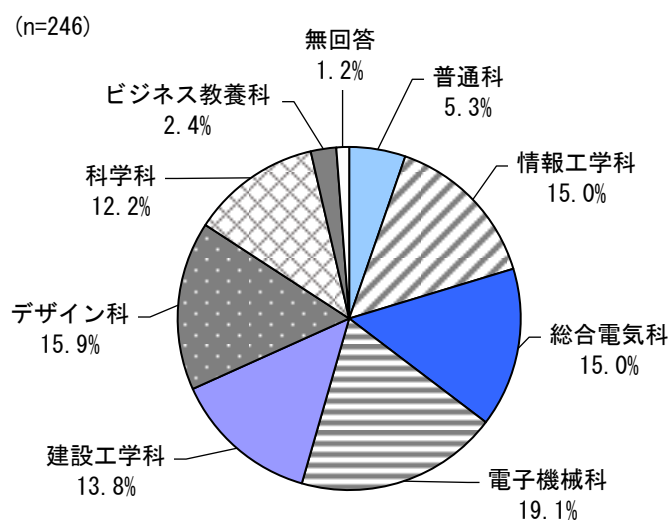
Ⅱ. 高校生調査の結果

1. 調査回答者の基本属性

(1) 学科

回答者の学科は、「電子機械科」が19.1%と最も高く、次いで、「デザイン科」が15.9%、「情報工学科」、「総合電気科」がそれぞれ15.0%となっている。

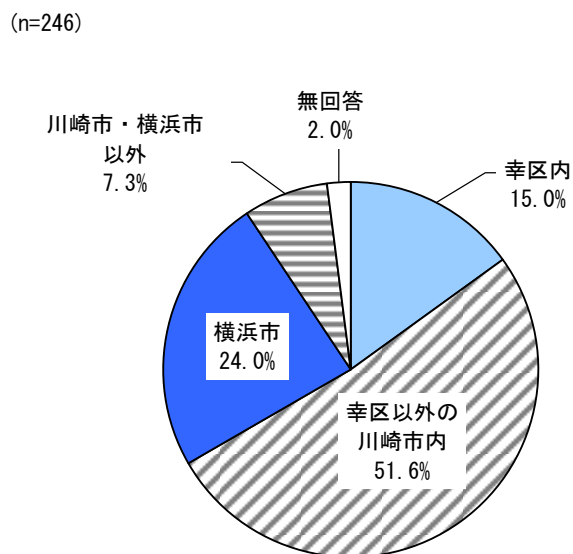
【図 調査回答者の学科】



(2) 居住地区

回答者の居住地区は、「幸区以外の川崎市内」が51.6%と最も高く、次いで、「横浜市」が24.0%、「幸区内」が15.0%となっている。

【図 調査回答者の居住地区】



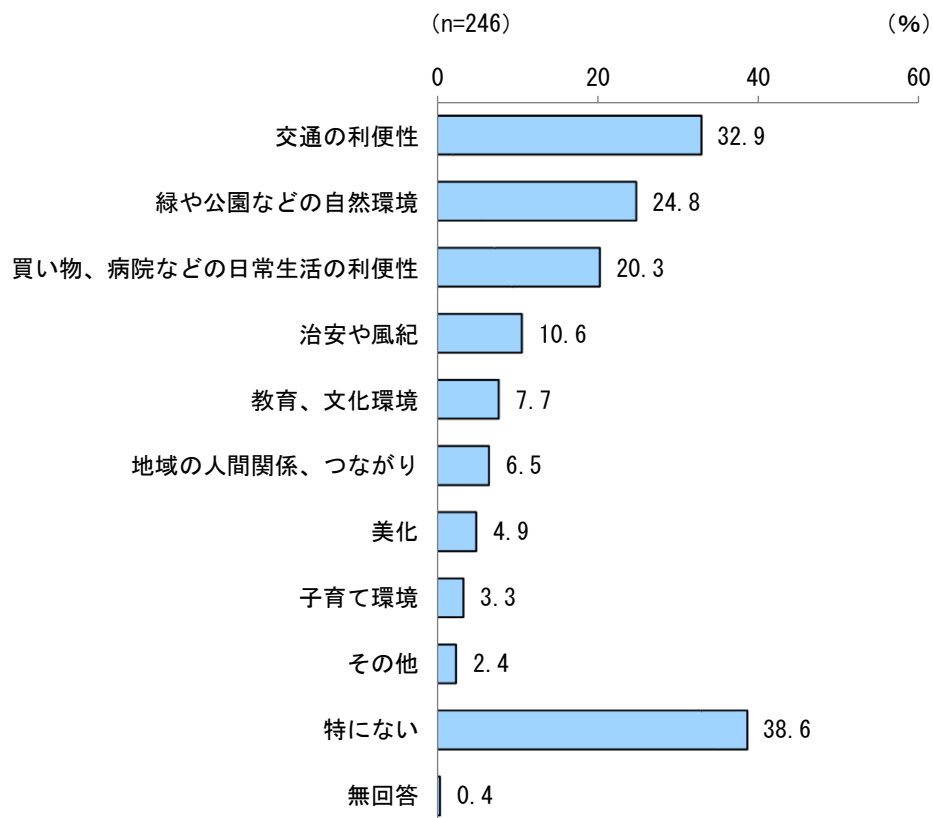
2. 幸区について

(1) 幸区の良いと感じるところ（魅力や誇り）

問1 幸区の良いと感じること（魅力や誇り）を選んでください。（〇はいくつでも）

「交通の利便性」が32.9%と最も高く、次いで、「緑や公園などの自然環境」が24.8%、「買い物、病院などの日常生活の利便性」が20.3%となっている。

【図 幸区の良いと感じるところ】



(2) 幸区内のお気に入りの場所（施設、公園、お店など）

問2 幸区内でお気に入りの場所（施設、公園、お店など）を教えてください。（自由記述）

「ラゾーナ川崎」(50 件) が最も多く、次いで、「御幸公園」(28 件)、「川崎総合科学高校」(11 件) となっている。

【表 幸区内のお気に入りの場所】

順位	項目	件数
第1位	ラゾーナ川崎	50
第2位	御幸公園	28
第3位	川崎総合科学高校	11
第4位	幸スポーツセンター	8
〃	多摩川、河川敷	8
第6位	ブックオフ	7
第7位	幸図書館	6
第8位	夢見ヶ崎動物公園	4
第9位	自分の家	3
〃	ドン・キホーテ	3
〃	川崎駅	3
第12位	チネチッタ	2
〃	田所商店	2
〃	コーナン	2

(3)「幸区」と聞いて初めに連想するもの

問3 「幸区」と聞いて初めに連想するものはなんですか。(自由記述)

「ラゾーナ川崎」(22 件) が最も多く、次いで、「川崎駅」(18 件)、「幸せ／幸せそう」(17 件) となっている。

【表 「幸区」と聞いて初めに連想するもの】

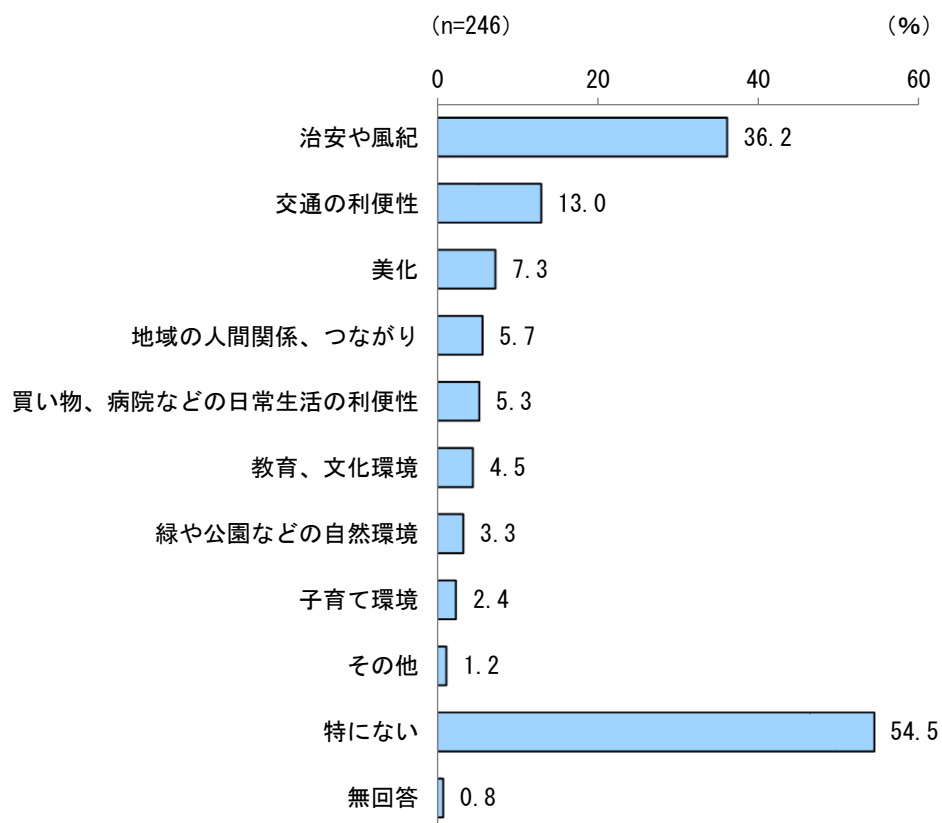
順位	項目	件数
第1位	ラゾーナ川崎	22
第2位	川崎駅	18
第3位	幸せ／幸せそう	17
第4位	川崎総合科学高校	11
〃	幸区役所	11
〃	御幸公園	11
第7位	多摩川	10
〃	幸高校	10
第9位	川崎／川崎市	8
第10位	幸スポーツセンター	4

(4) 幸区の不満に感じるところ

問4 幸区の不満に感じることを選んでください。(〇はいくつでも)

「治安や風紀」が 36.2%と最も高く、次いで、「交通の利便性」が 13.0%、「美化」が 7.3%となっている。

【図 幸区の不満に感じるところ】



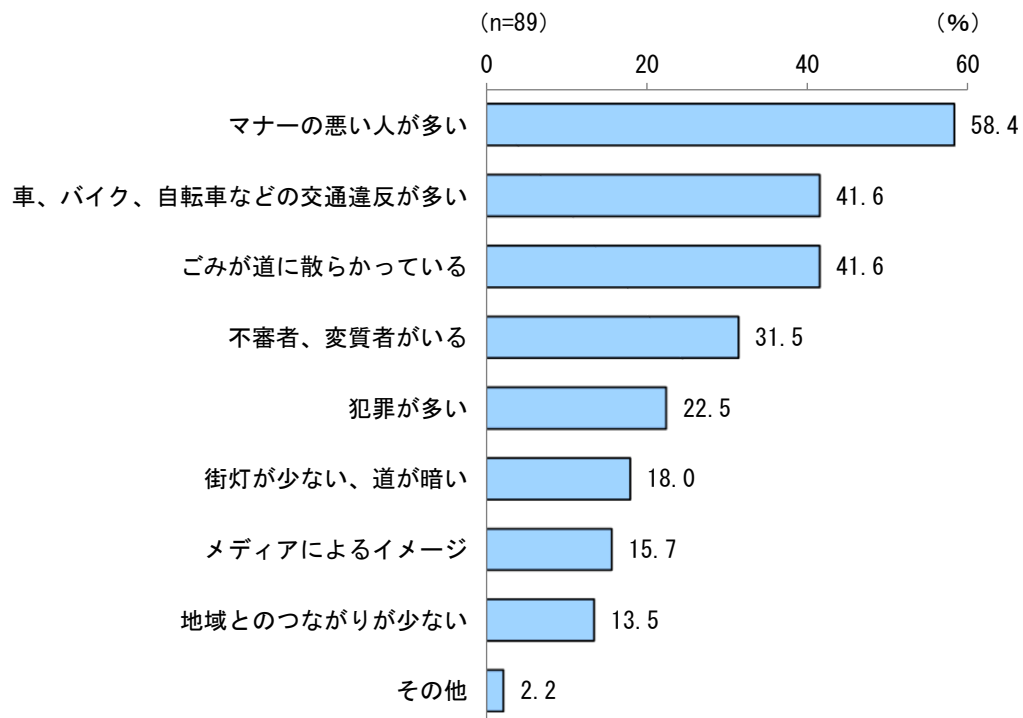
（５）治安や風紀で不満に感じるところ

問４で「１．治安や風紀」を選んだ方におたずねします。

問５ どのような点が感じますか。（○はいくつでも）

「マナーの悪い人が多い」が 58.4%と最も高く、次いで、「車、バイク、自転車などの交通違反が多い」、「ごみが道に散らかっている」がそれぞれ 41.6%、「不審者、変質者がいる」が 31.5%となっている。

【図 治安や風紀で不満に感じるところ】

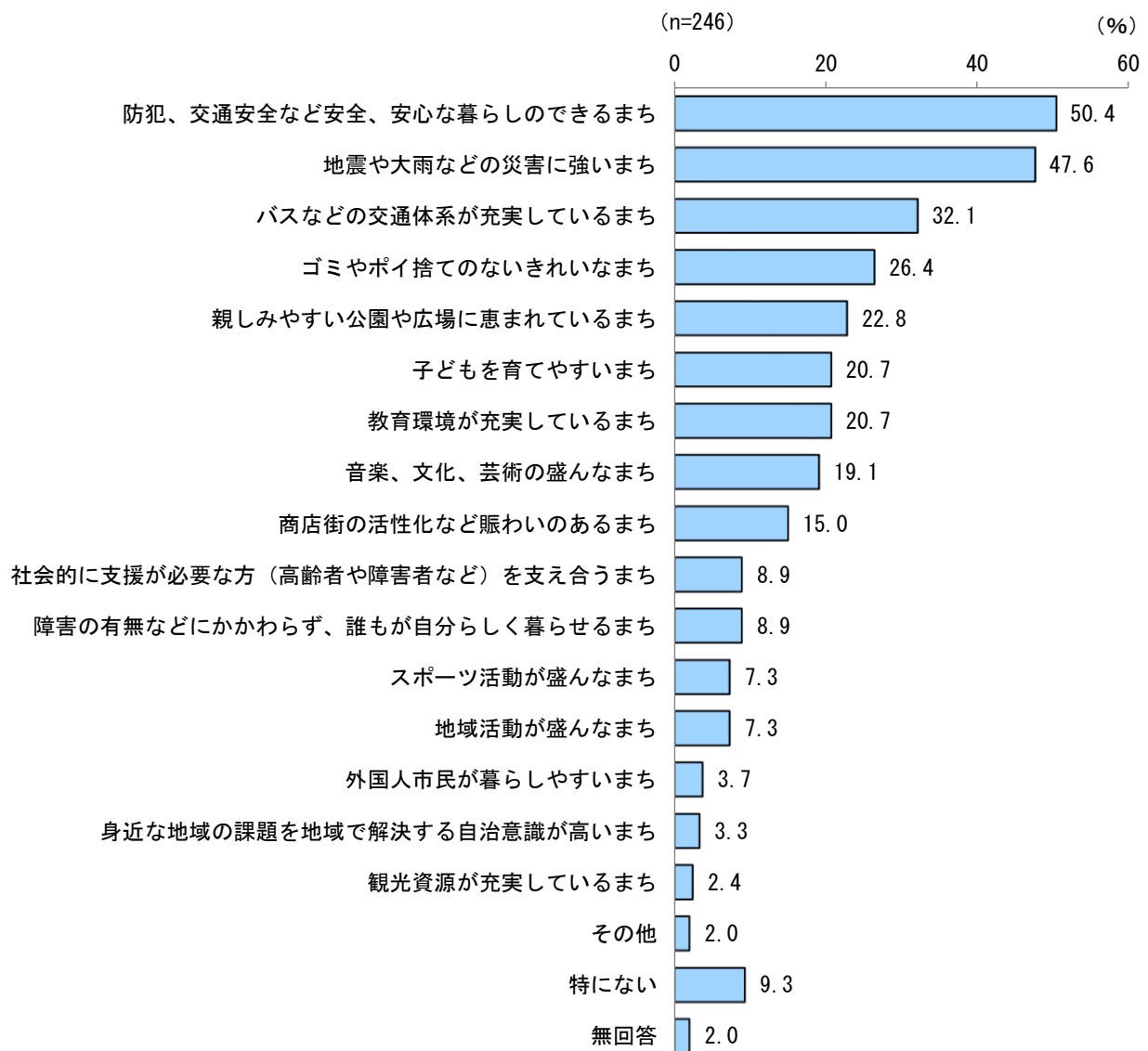


（６）１０年後、どのような「まち」に住みたいか

問６ １０年後、どのような「まち」に住みたいです。優先度が高いと思う項目を選んでください。
（〇は５つまで）

「防犯、交通安全など安全、安心な暮らしのできるまち」が 50.4%と最も高く、次いで、「地震や大雨などの災害に強いまち」が 47.6%、「バスなどの交通体系が充実しているまち」が 32.1%となっている。

【図 １０年後どのような「まち」に住みたいか】



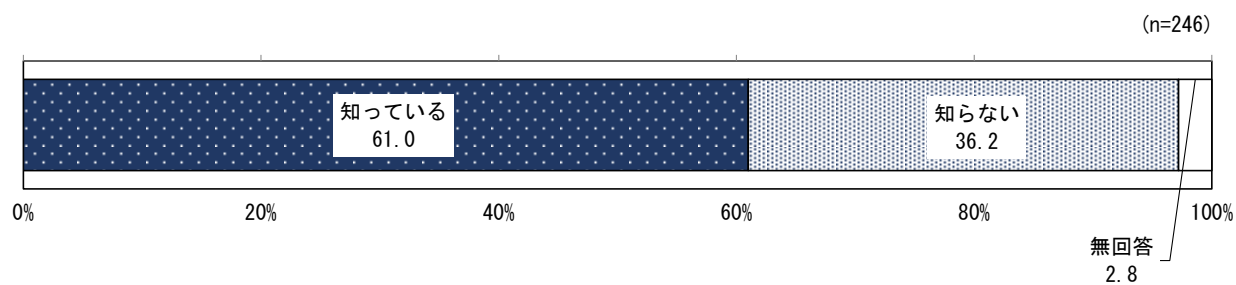
3. 交通安全について

(1) 自転車損害賠償責任保険等への加入義務（神奈川県条例）の認知度

問7 神奈川県条例では、県内で自転車を利用する場合、自転車損害賠償責任保険等への加入が義務付けられていますが、そのことを知っていますか。（○は1つ）

「知っている」が61.0%、「知らない」が36.2%となっている。

【図 自転車損害賠償責任保険等への加入義務の認知度】



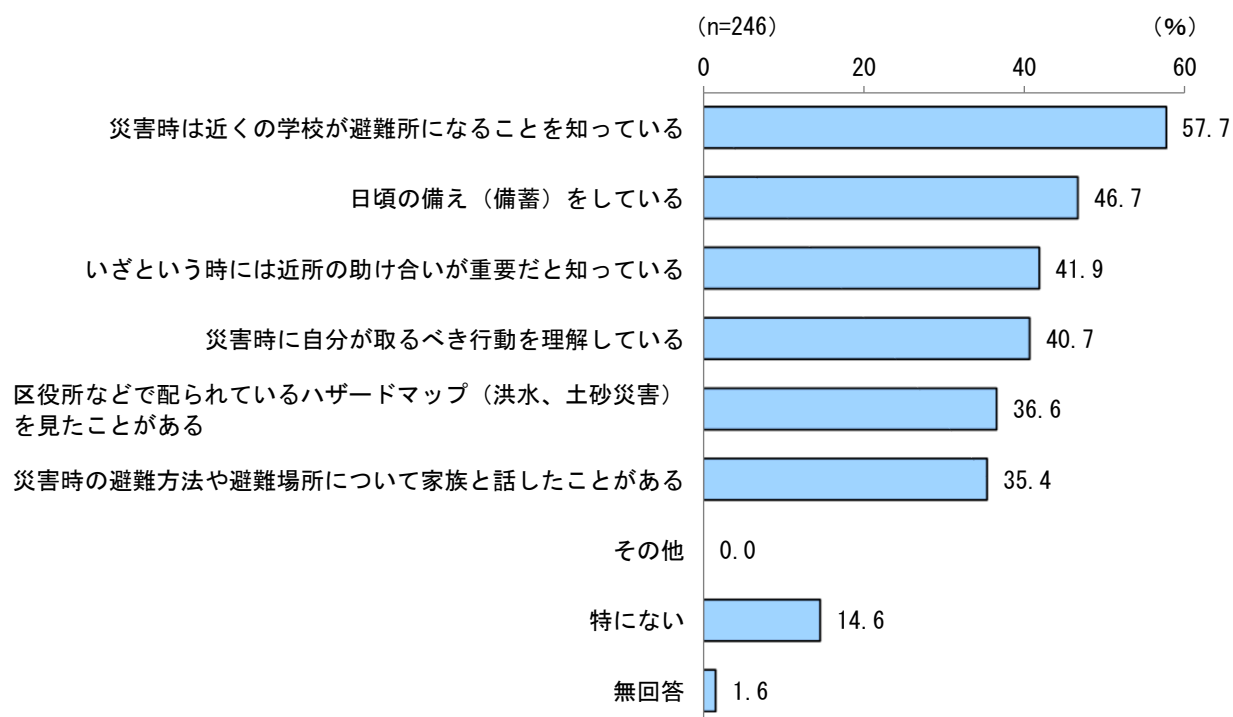
4. 防災について

(1) 防災についてあてはまるもの

問8 防災について、あてはまるものを選んでください。(〇はいくつでも)

「災害時は近くの学校が避難所になることを知っている」が57.7%と最も高く、次いで、「日頃の備え(備蓄)をしている」が46.7%、「いざという時には近所の助け合いが重要だと知っている」が41.9%となっている。

【図 防災についてあてはまるもの】

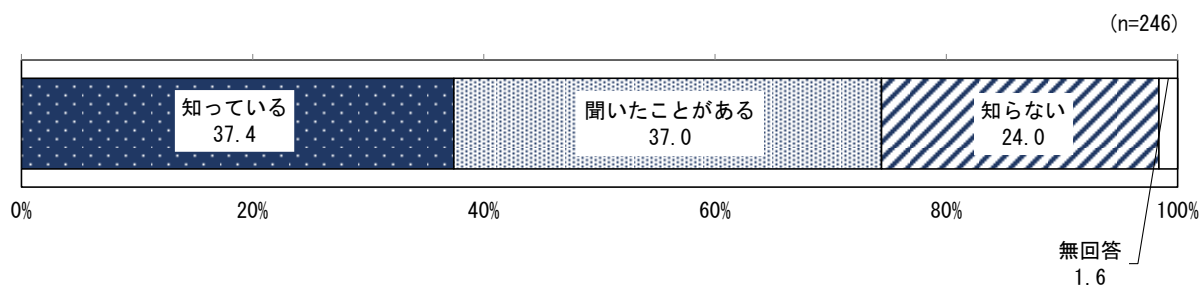


（２）消防団の認知度

問９ あなたは消防団を知っていますか。（○は１つ）

「知っている」が 37.4%、「聞いたことがある」が 37.0%、「知らない」が 24.0%となっている。

【図 消防団の認知度】

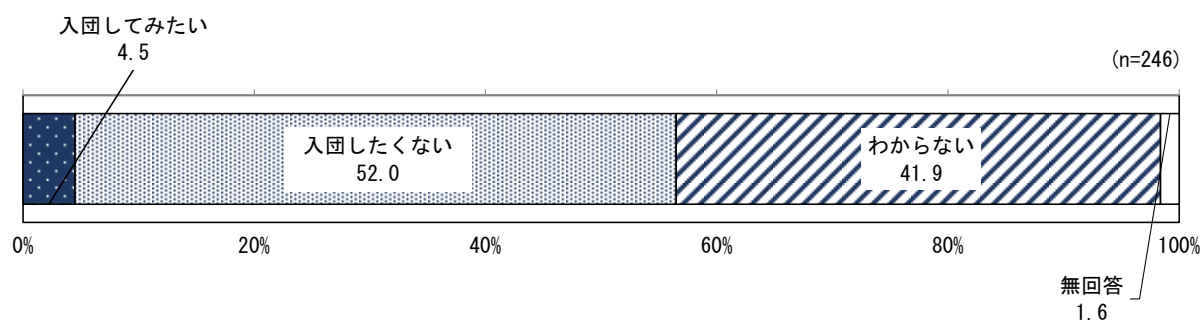


（３）消防団への入団希望

問10 あなたは将来消防団に入団してみたいと思いますか。（○は１つ）

「入団してみたい」が 4.5%、「入団したくない」が 52.0%、「わからない」が 41.9%となっている。

【図 消防団への入団希望】



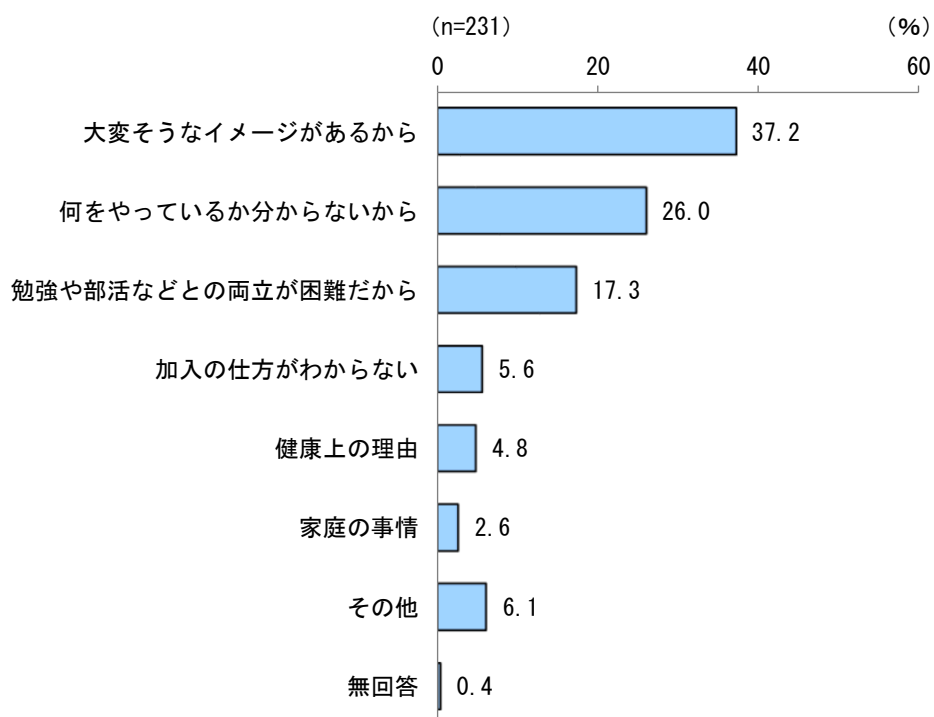
(4) 消防団への入団に消極的な理由

問10で「入団したくない」「わからない」を選んだ方におたずねします。

問11 その理由は何ですか。(○は1つ)

「大変そうなイメージがあるから」が37.2%と最も高く、次いで、「何をやっているか分からないから」が26.0%、「勉強や部活などとの両立が困難だから」が17.3%となっている。

【図 消防団への入団に消極的な理由】



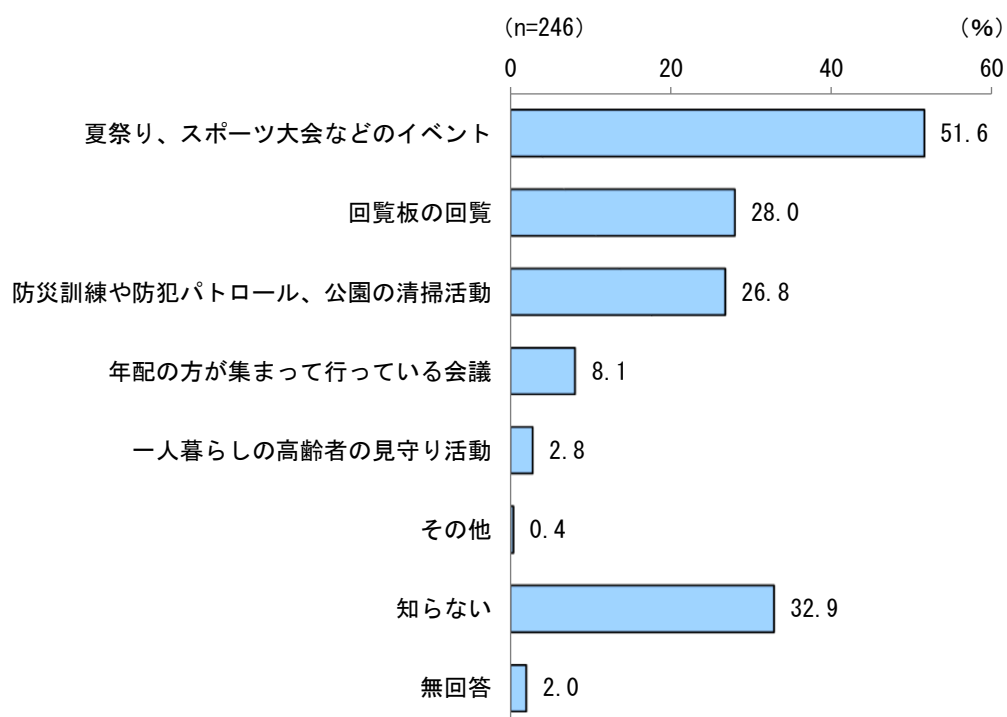
5. 自分の住んでいる地域のことについて

(1) 町内会・自治会の活動で知っていること

問12 町内会・自治会がどのような活動をしているか知っていますか。知っているものを選んでください。
(〇はいくつでも)

「夏祭り、スポーツ大会などのイベント」が 51.6%と最も高く、次いで、「回覧板の回覧」が 28.0%、「防災訓練や防犯パトロール、公園の清掃活動」が 26.8%となっている。また、「知らない」は 32.9%となっている。

【図 町内会・自治会の活動で知っていること】

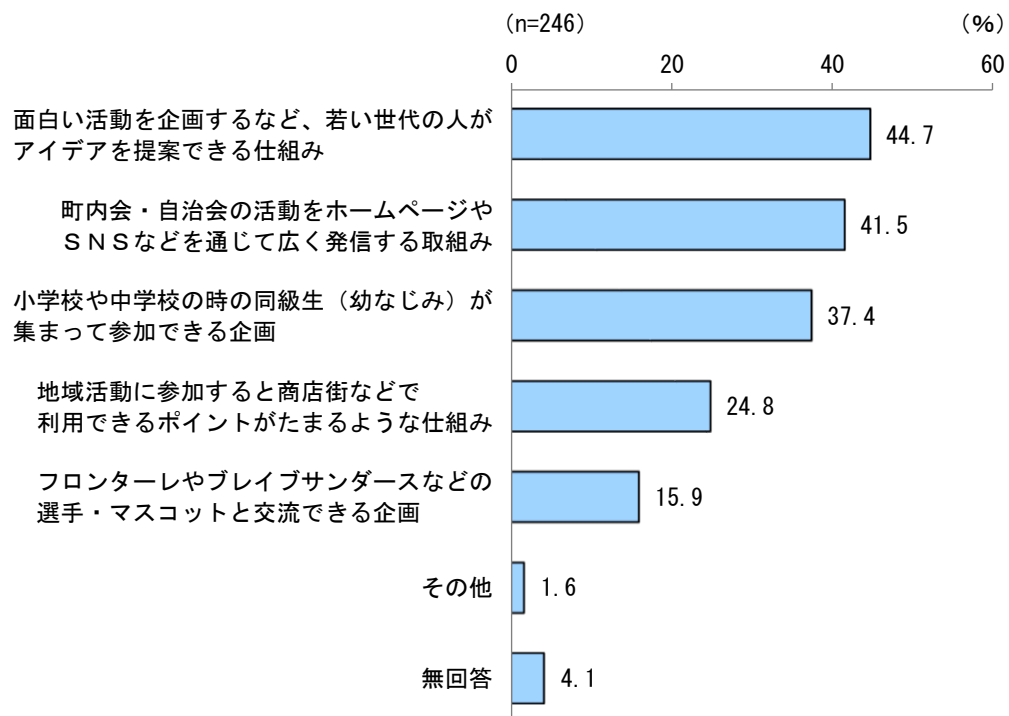


（２）町内会・自治会の活動に若い世代が参加しやすくするために必要だと思うこと

問13 町内会・自治会の活動に、高校生などの若い世代の人が参加しやすくするためには、どのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

「面白い活動を企画するなど、若い世代の人がアイデアを提案できる仕組み」が 44.7%と最も高く、次いで、「町内会・自治会の活動をホームページや SNS を通じて広く発信する取組み」が 41.5%、「小学校や中学校の時の同級生（幼なじみ）が集まって参加できる企画」が 37.4%となっている。

【図 町内会・自治会の活動に若い世代が参加しやすくするために必要だと思うこと】

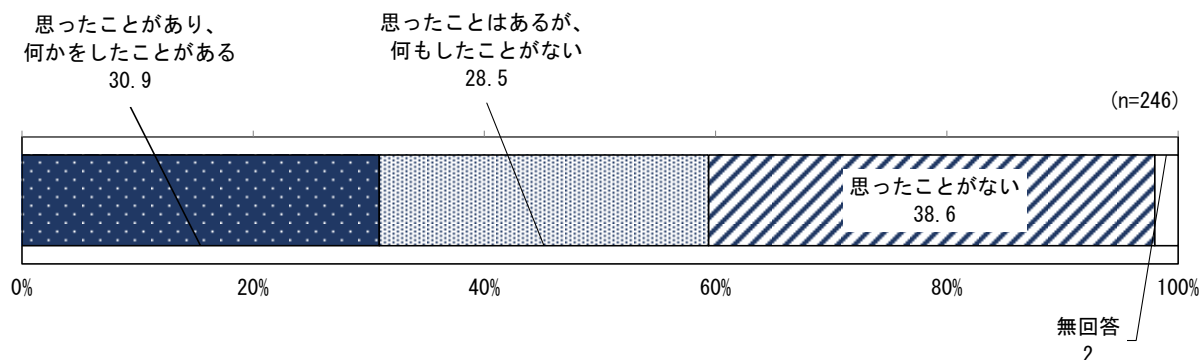


（３）困っている人に対して何かしたいと思ったこと

問14 まちで困っている人を見かけたとき、何かをしたいと思ったことはありますか。（○は１つ）

「思ったことがあり、何かをしたことがある」（30.9％）と「思ったことはあるが、何もしたことがない」（28.5％）を合わせた『思ったことがある（計）』は59.4％となっている。一方、「思ったことがない」は38.6％となっている。

【図 困っている人に対して何かしたいと思ったこと】



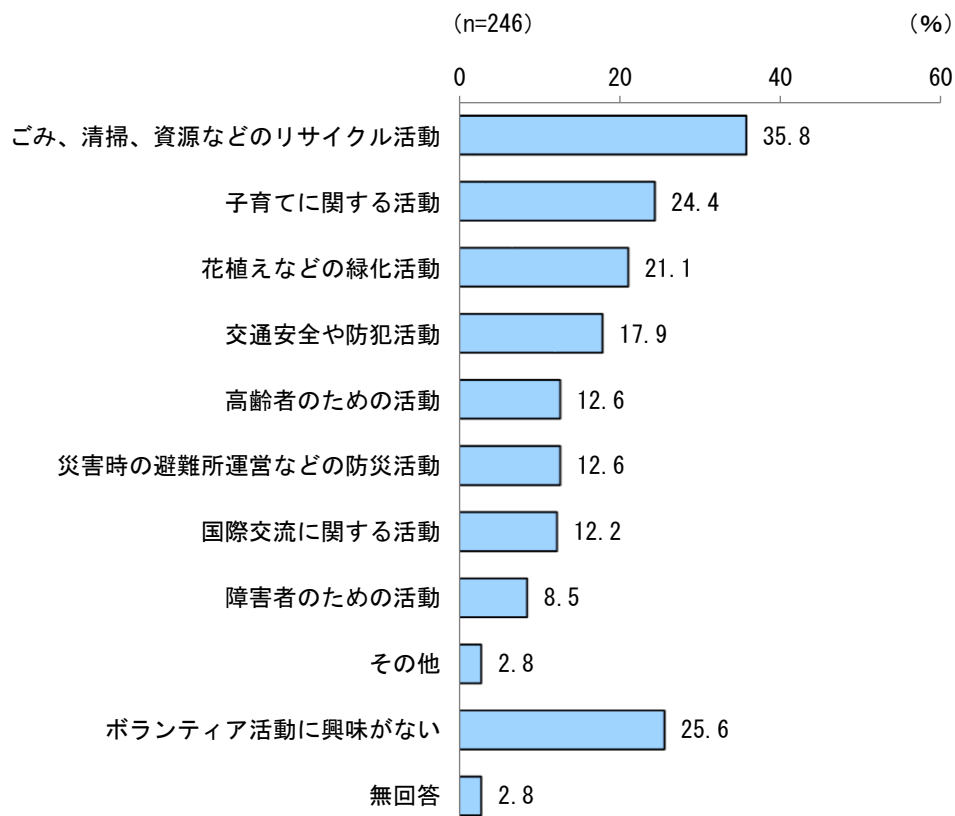
6. ボランティア活動について

(1) ボランティア活動について興味がある分野

問15 ボランティア活動について、どの分野に興味がありますか。(〇はいくつでも)

「ごみ、清掃、資源などのリサイクル活動」が35.8%と最も高く、次いで、「子育てに関する活動」が24.4%、「花植えなどの緑化活動」が21.1%となっている。

【図 ボランティア活動について興味がある分野】

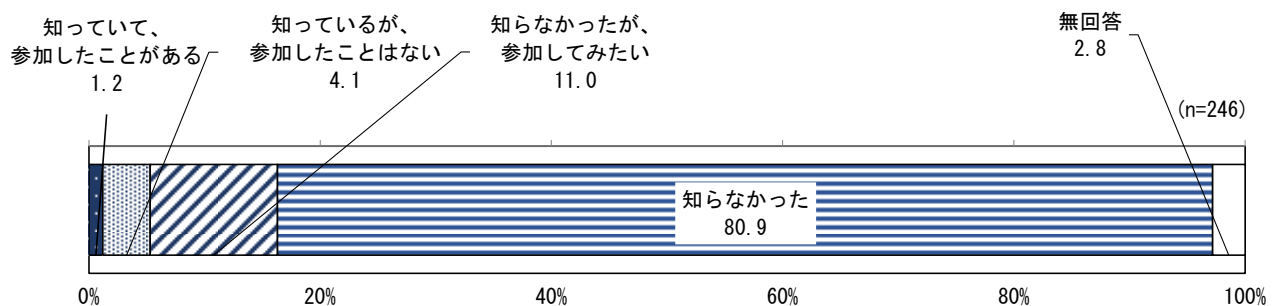


（２）幸区で実施している中高生のボランティア活動の取組「はぴ☆ボラ」の認知度

問16 幸区では、中学生や高校生が、幸区内の地域活動でボランティア活動を行う「はぴ☆ボラ」を実施しています。「はぴ☆ボラ」について知っていましたか。（○は１つ）

「知っていて、参加したことがある」(1.2%)と「知っているが、参加したことはない」(4.1%)を合わせた『知っていた(計)』は5.3%となっている。また、「知らなかったが、参加してみたい」(11.0%)と「知らなかった」(80.9%)を合わせた『知らなかった(計)』は91.9%となっている。

【図 中高生のボランティア活動の取組「はぴ☆ボラ」の認知度】



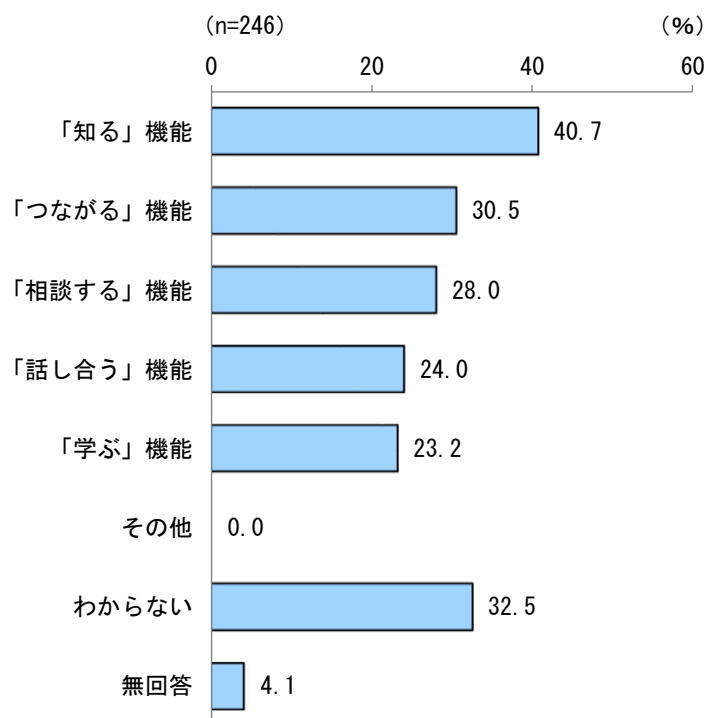
（３）市民活動やコミュニティ活動を行っていくために必要な機能

問17 市民活動やコミュニティ活動を行っていくには、どのような機能が必要だと思いますか。

（〇はいくつでも）

『知る』機能（地域の活動情報を伝える機能）」が 40.7%と最も高く、次いで、『つながる』機能（地域の方々が交流し、つながりを持つ機会をつくる機能）」が 30.5%、『相談する』機能（地域活動を始めたい方などに、必要なノウハウを提供し、サポートする機能）」が 28.0%となっている。

【図 市民活動やコミュニティ活動を行っていくために必要な機能】



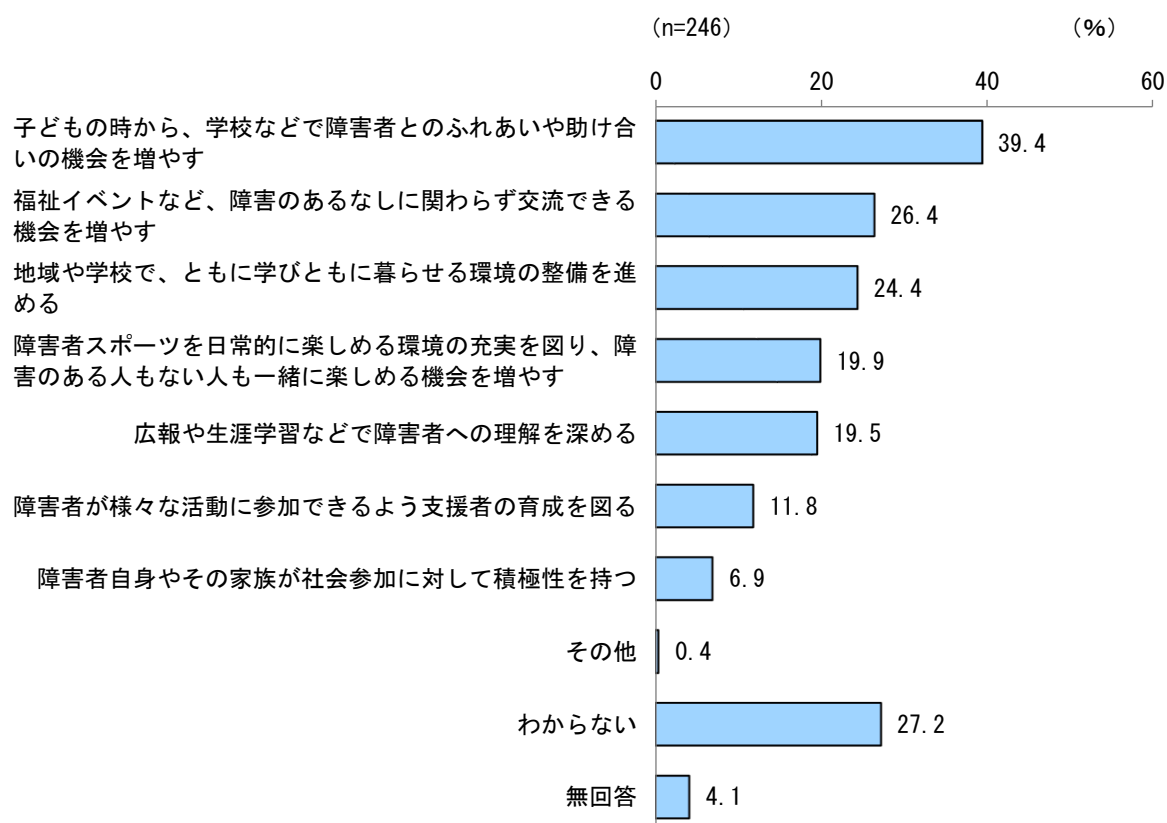
7. 障害者支援について

(1) 心のバリアフリーを進めていくために大切なこと

問18 心のバリアフリーを進めていくためには何が大切だと思いますか。（〇は3つまで）

「子どもの時から、学校などで障害者とのふれあいや助け合いの機会を増やす」が 39.4%、次いで、「福祉イベントなど、障害のあるなしに関わらず交流できる機会を増やす」が 26.4%、「地域や学校で、ともに学びともに暮らせる環境の整備を進める」が 24.4%となっている。

【図 心のバリアフリーを進めていくために大切なこと】



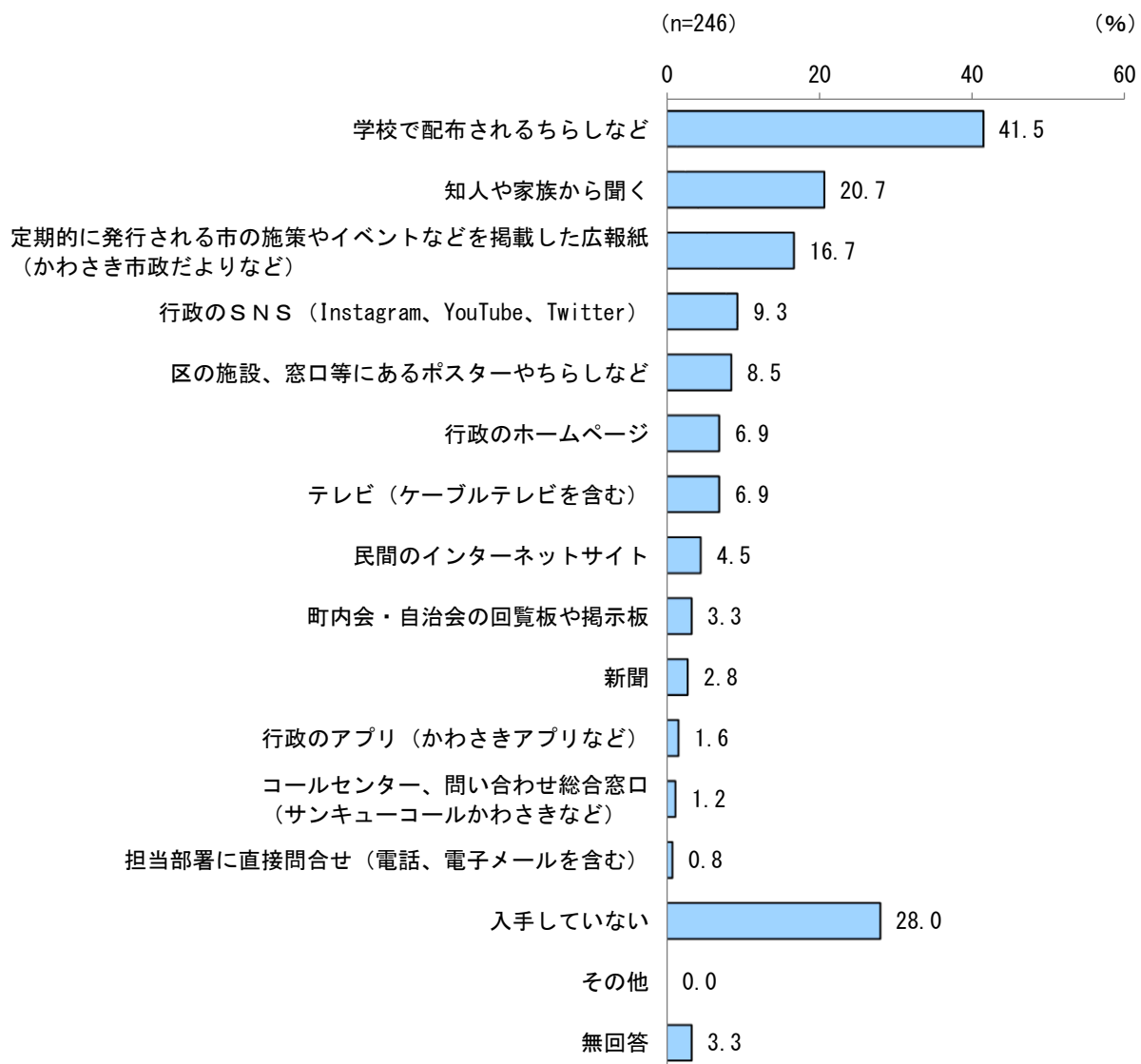
8. 行政の情報について

(1) 行政情報の入手方法

問19 市や区のお知らせを主にどこから入手していますか。(〇はいくつでも)

「学校で配布されるちらしなど」が41.5%と最も高く、次いで、「知人や家族から聞く」が20.7%、「定期的に発行される市の施策やイベントなどを掲載した広報紙（かわさき市政だよりなど）」が16.7%となっている。

【図 行政情報の入手方法】

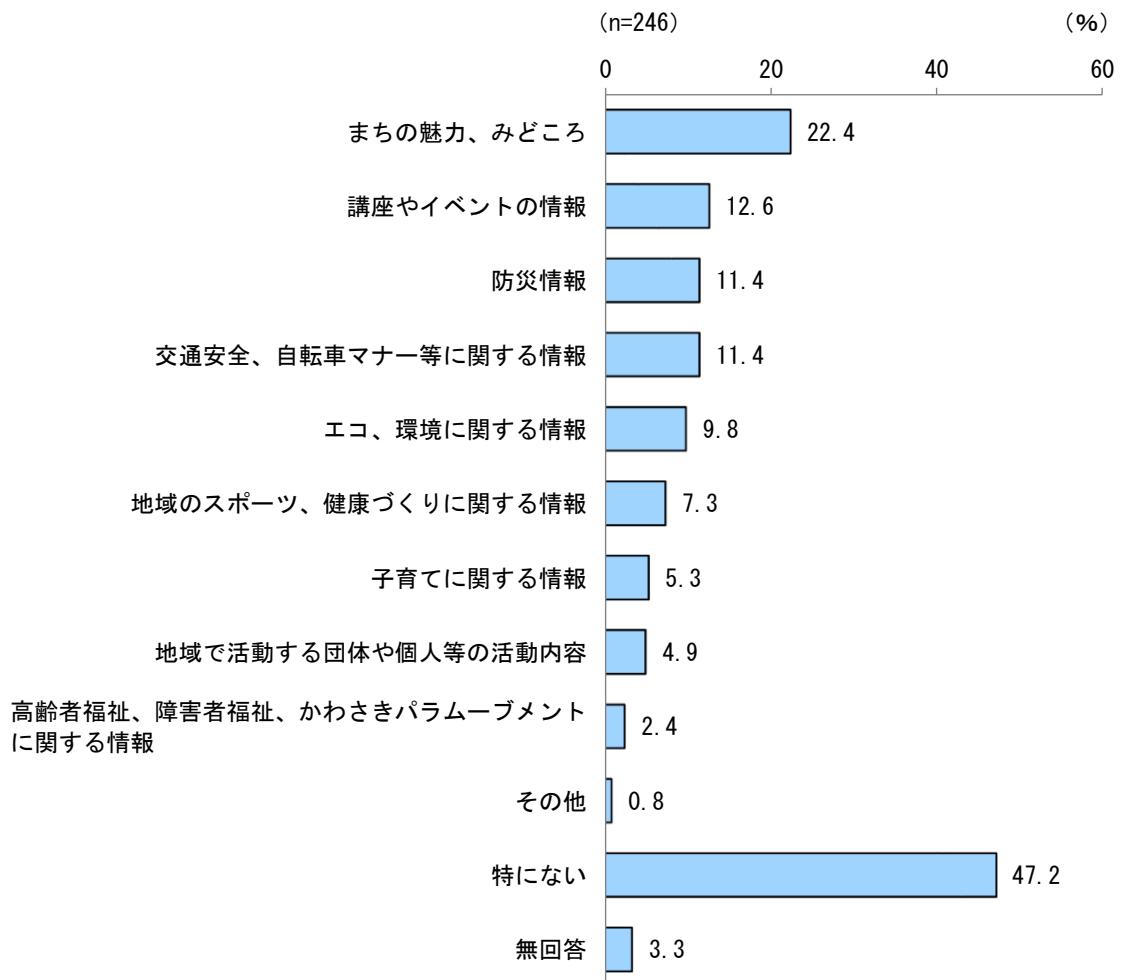


（２）行政のお知らせについて興味、関心がある内容

問20 市や区のお知らせについて、どのような内容に関心、興味がありますか。（〇はいくつでも）

行政のお知らせについて興味、関心がある内容を聞いたところ、「まちの魅力、みどころ」が22.4%と最も高く、次いで、「講座やイベントの情報」が12.6%、「防災情報」、「交通安全、自転車マナー等に関する情報」がそれぞれ11.4%となっている。

【図 行政のお知らせについて興味、関心がある内容】



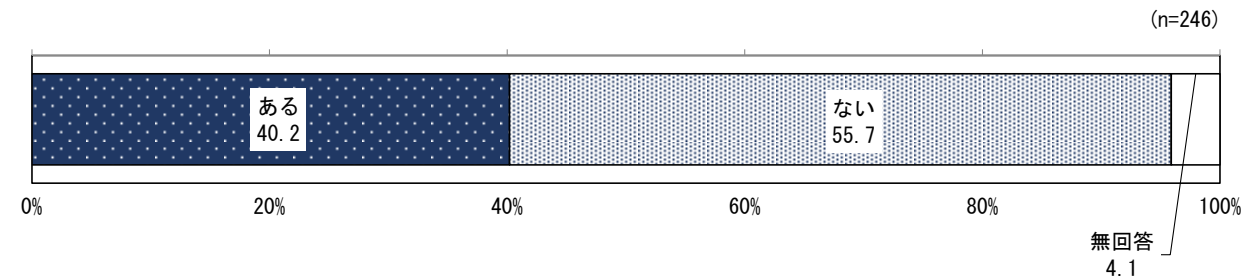
9. 将来について

(1) 就職について重視したい動機や考え方

問21 現時点で、就職について、重視したい動機や考え方が具体的にありますか。(○は1つ)

「ある」が40.2%、「ない」が55.7%となっている。なお「ある」の具体的内容は「人の役に立ちたい／人のためになりたい」が19件で最も高く、次いで「趣味を活かしたい」(17件)、「自分の好きなことをしたい」(5件)と続いている。

【図 就職について重視したい動機や考え方】



【表 具体的内容】

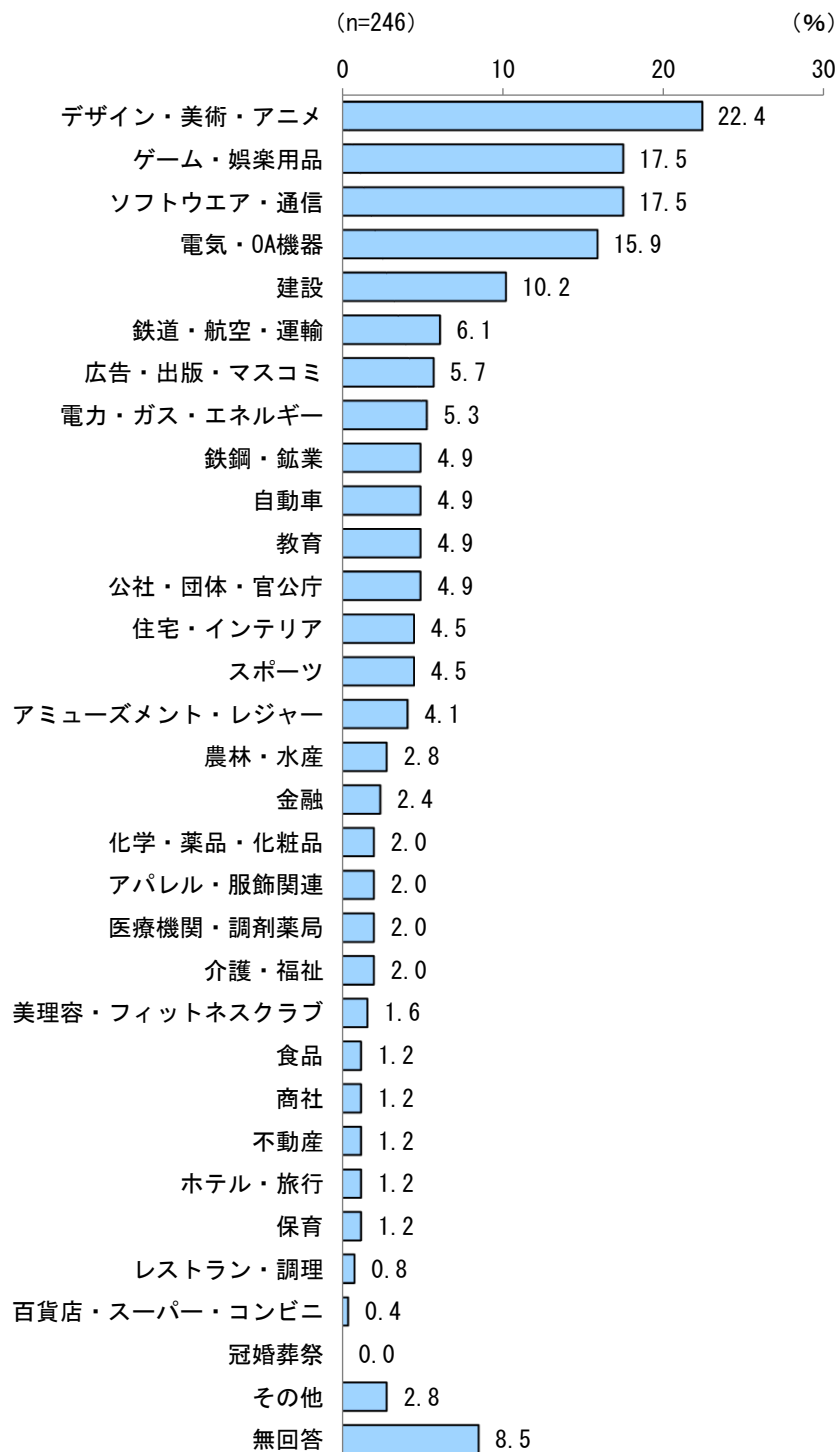
順位	項目	件数
第1位	人の役に立ちたい／人のためになりたい	19
第2位	趣味を活かしたい	17
第3位	自分の好きなことをしたい	5

(2) 就職したい分野

問22 将来、どんな分野に就職したいですか。(〇は3つまで)

「デザイン・美術・アニメ」が22.4%と最も高く、次いで「ゲーム・娯楽用品」、「ソフトウェア・通信」がそれぞれ17.5%、「電気・OA機器」が15.9%となっている。

【図 就職したい分野】



10. 自由意見

問23 幸区について、改善してほしいことなどがありましたらご自由にお書きください。

幸区役所への意見・要望などを自由記述形式で聞いた内容を分類した結果は以下のとおりである。

分類した項目をみると、「施設について」（7件）が最も多く、次いで、「バス・鉄道などの公共交通機関について」（5件）、「治安について」（5件）、「交通安全について」（3件）となっている。

【表 自由意見】

順位	項目	件数
第1位	施設について	7
第2位	バス・鉄道などの公共交通機関について	5
〃	治安について	5
第4位	交通安全について	3
第5位	道路整備について	2
第6位	ごみ処理について	1
第7位	コミュニティについて	1

（主な意見）

第1位「施設について」

- ・活動が盛んな場所（商店街など）が思いつかないので活性化してほしい
- ・勉強できる施設を増やしてほしい
- ・サバゲーフィールドなどをなるべく安い料金で利用できる施設を建ててほしい

第2位「バス・鉄道などの公共交通機関について」

- ・川崎駅から学校までの直通の市バス路線を作してほしい
- ・鹿島田駅の踏切の渋滞改善
- ・公共交通機関の運賃を安くしてほしい

第2位「治安について」

- ・治安をよくする
- ・防犯を強化してほしい
- ・川崎駅周辺が少し治安悪くなって感じる場所があったり、変質者が多いのもっと市全体で改善していくべきだと思いました。



令和6年度 幸区区民アンケート調査 <概要版>

令和7年2月

発行 幸区役所 まちづくり推進部企画課

〒212-8570 川崎市幸区戸手本町 1-11-1

TEL 044-556-6612 (直通)

FAX 044-555-3130

メールアドレス 63kikaku@city.kawasaki.jp